

| | | | | | |
|----------------|---|----------|-------------------|-------|------------------|
| 学校 教育 目標 | 創造する子 「Create～自分・仲間・学校・まち・夢を創る」 | | | | |
| | ◇自分で考え、判断し、責任を持って行動する子を育てます。 (知) | | | | |
| | ◇友達を協力し、みんなのことを大切に子を育てます。 (徳) | | | | |
| | ◇心身を鍛え、よりよい生活習慣を身に付け、自他の生命を尊重する子を育てます。 (体) | | | | |
| 学校 概要 | ◇まちの人や事柄とのふれあいを大切に、まちと共に生きる子を育てます。 (公) | | | | |
| | ◇社会の変化に柔軟に対応し、自己肯定感をもち、夢やモチベーションを持ち続ける子を育てます。 (開) | | | | |
| 学校 | 創立 27 周年 | 学校長 高島 聡 | 副校長 魚住 千尋 | 2 学期制 | 一般学級：27 個別支援学級：2 |
| 概要 | 児童生徒数：899 人 | | 主な関係校：川和中学校・川和小学校 | | |

| 教育課程全体で 育成を目指す資質・能力 | 川和中 ブロック | 小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組 |
|--|--------------------------|---|
| 【自分づくりに関する力】 【各学年で重点的に育てたい資質・能力】 (低)主体性・積極性、人と関わろうとする力 (中)問題発見・解決能力、思いや考えを伝える力、意思決定をする力 (高)多様性を尊重する力、様々な情報を活用・選択する力、伝えあうことで自分の考えを深化する力 | 川和中学校 川和小学校 川和東小学校 | 人々と考えや思いを共有するコミュニケーション能力 ①各教科等の学習の充実 ②人権教育 ③様々な教育の場の連携 |

| | |
|----------------|---|
| 中期 取組 目標 | ◇一人の児童を徹底して大切に、多様性を生かしたかわりで、まちとともに歩む学校にします。 ・(学力向上・特別支援) 児童一人ひとりの特性を見取り、個に応じた学習方法の工夫や指導方法を改善し、問題解決的な学びを通して学力が向上する学校にします。 ・(児童指導) 安心・安全を第一に、児童一人ひとりと向き合い、寄り添いながら全教職員で一人の児童を育て、いじめを許さない学校風土づくりを進めます。 ・(職員協働) 教職員としての自覚をもち、相互に信頼し、専門性を高めるために切磋琢磨しながら成長し合い、「チーム川和東」を実感する学校にします。 ・(特色1) 大規模校の特色を生かし、ダイナミックな教育活動を通じて社会性を育てるようにします。 ・(特色2) まちの人や事柄とのふれあいを大切に、まちとのつながりを大切にすることが育つ学校にします。 ◇次のキーワードを大切にしながら、子どもの資質・能力を高めていく学校にします。 ・カリキュラムマネジメント、主体性、特別支援教育、ユニバーサルデザイン、インクルーシブ教育、ユニバーサルデザイン、自主的授業公開、教科分担制、少人数指導、GIGAスクール |
|----------------|---|

| 重点取組分野 | 具体的取組 |
|--|--|
| 確かな学力 担当 重点研推進部会 | ①学習状況調査の結果を分析し、課題を教員で共有し、授業改善で学力向上に取り組むとともに、児童一人ひとりに応じた学習指導を行う。②児童が安心して学習に取り組めるようにユニバーサルデザインを意識した学習指導及び、教科担任制の授業の方法を工夫し、学年内で実施する。③GIGAスクール構想にともなう授業を積極的に取り入れる。 |
| 豊かな心 担当 小中・異学年交流・幼保小 | ①特別の教科道徳の授業を充実させ、児童一人ひとりが自分の生活や生き方にあてはめながらよりよい生き方ができるように考えさせる。②地域の方やボランティアの方々との交流を通じ、豊かな心の育成や感謝の気持ちを伝えられるように支援する。 |
| 健やかな体 担当 体育・保健・給食部 | ①体育の授業に、体力づくりを意識した内容を継続的に取り入れる。②食育をテーマとした学習を児童と保護者で実施する。 |
| 特別支援教育 担当 特別支援教育委員会 | ①特別支援教育コーディネーターを活用した支援体制を作る。②特別支援・人権教育委員会をインクルーシブ教育推進を主とした取組とし、どの学級でも誰もが安心して豊かに生活できるようにする。 |
| 児童生徒指導 担当 児童理解・人権委員会 | ①学校生活スタンダードを全教職員が共有し、どの児童に対してもどの教職員が同じかわりで支援ができるようにする。②一人の児童へのかかわりを複数の教職員でかわり、それぞれの視点で、その児童のよい部分を共有する取り組みを行う。 |
| 地域連携・学校運営協議会 担当 事務局 | ①学校運営協議会を中心として、地域の人材を活用する。②地域で開催される行事や、地域防災拠点訓練に、教員が参加するとともに、児童の参加を促す。③地域コーディネーターの活用を発展させる。 |
| 異学年交流「くすのきタイム」 担当 特活部 | ①様々な特性をもつ児童が誰とでも優しくかわられるように、意図的・計画的に縦割り活動を実施し、相手を思いやりながら行動できるよう育成する。②活動それぞれのねらいを明確にし、児童が目標をもって取り組めるようにする。 |
| 自分づくり(キャリア教育) 担当 5年・6年 | ①学校教育目標にかかわる「自分づくり」の活動を通じ、働くことの意味を理解し、企業と協働した参画活動に取り組む。②学校ボランティアの方や地域で学校のために活動をしてきている人との交流をすすめて、生き方を学ぶ。 |
| いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会 | ①「ゆうゆうアンケート」の定期的な実施を通じ、児童の困り感へ寄り添い、いじめのない学校にする。②「ゆうゆうアンケート」の結果を全教職員で共有し、「いじめ防止対策委員会」を中心として研修等で具体的に対応する。 |
| 人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 教務・パワーアップ委員会 | ①会議の持ち方や内容について、効率的な会議となるように常に意識し、改善に取り組む。②学年副主任制で、学年経営を意識したミドルリーダーの育成を行う。③職員室パワーアップ委員会の活動で、職場の環境改善に、衛生委員会と協働して取り組む。 |